

# 2014年度・平成26年度 事業報告書

2014年・平成26年4月1日 ～ 2015年・平成27年3月31日

2015年4月1日

学校法人山口学園


# くずは青葉幼稚園

| <b>目次</b>                                   |                |
|---|----------------|
| <b>2014年度・平成26年度 くずは青葉幼稚園 事業報告</b>          |                |
|   | 本書は 17ページを以て成す |
| 第1節 法人・幼稚園概要                                | 3 page         |
| 第2節 2014年度・平成26年度 幼稚園運営指針                   | 3 page         |
| 第3節 自己評価の取り組み                               | 4 page         |
| 第4節 子育て支援事業                                 | 4 page         |
| ① 預かり保育                                     | 4 page         |
| ② 園庭開放（未就園児子育て支援）                           | 4 page         |
| ③ 課外教室                                      | 5 page         |
| 第5節 教育環境設備の充実                               | 5 page         |
| 第6節 納付金の減免                                  | 5 page         |
| 第7節 大阪府私立幼稚園経常費補助金                          | 5 page         |
| 第8節 枚方市／平成26年度幼稚園幼児教育充実事業                   | 5 page         |
| 第9節 保護者交付各補助金                               | 6 Page         |
| 第10節 組織運営体制                                 | 6 page         |
| ① 学校法人山科学園運営体制[理事長・理事会の役割と責任]               | 6 page         |
| ② くずは青葉幼稚園運営体制                              | 7 page         |
| 第11節 教員の資質向上                                | 7 page         |
| ① 園内における保育研究                                | 7 page         |
| ② 園外における研修                                  | 7 page         |
| 第12節 園児健康管理及び職員健康管理                         | 8 page         |
| 第13節 幼稚園行事（事業）の概要実施報告                       | 8 page         |
| 第14節 学事報告                                   | 9 page         |
| 平成26年度 学籍詳細 就学小学校一覧                         | 9 page         |
| 第15節 財務報告[重要事項報告]                           | 9 page         |
| 第16節 その他の報告                                 | 9 page         |
| ① 未就園児教室の開講 ② 未就園児（在園児）園庭開放の実施 ③ 小学校との連携・交流 | 9 page         |
| ④ ホームページの更新（情報公開） ⑤ 高齢者との交流会 ⑥ 通園バス運行       | 10 page        |
| ⑦ 銀行借入金に関して ⑧ 園則変更について ⑨ 給食実施状況・食育の取り組み状況   | 11 page        |
| ⑩ 科学あそびの導入について                              | 11 page        |
| ⑪ 中学生の「職場体験学習」受け入れ ⑫ 次年度・学籍について             | 12 page        |
| ⑬ 第10節に関連して 認定こども園への移行について                  | 12 page        |
| 第17節 沿革                                     | 14 page        |
| 学籍の推移 [資料]                                  | 16 page        |

## 学校法人山口学園 くずは青葉幼稚園

# 2014年度／平成26年度 事業報告書

### 第1節. 法人・幼稚園概要

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| 設 置 者     | 学校法人山口学園  |  |
| 学 校 名     | くずは青葉幼稚園  |  |
| 所 在 地     | 枚方市北楠葉町38番1号  |  |
| 学 校 長 氏 名 | 園 長 山口尚志  |  |
| 法 人 代 表 者 | 理事長 山口尚志  |  |
| 理 事 会     | 理事7名（年度途中欠員1名、選任1名）、評議員14名、監事2名<br>定例理事会 2回開催（決算5月・予算3月、承認）欠員の理事・評議員の選任理事会開催      |  |
| 定員・実員学籍   | 定員400名 実員220名（平成26年5月1日時点）<br>[3歳児95名、4歳児78名、5歳児47名]                              |  |
| 職 員 構 成   | 平成26年度 園長1名、主任教諭1名、教諭12名（11月より1名入職により13名）<br>園務員1名、嘱託バス運転手2名。以上正職員 合計18名 [体育講師1名] |  |
| 建 学 の 精 神 | 「たくましく人間性豊かな子どもをめざす」  |  |
| そ の 他 I   | ホームページ [ <a href="http://www.k-aoba.ed.jp/">http://www.k-aoba.ed.jp/</a> ] にて詳細公開 |  |
| そ の 他 II  | 法人及び幼稚園連絡先 電話 072-857-8221 FAX 072-856-5944<br>メールアドレス info@k-aoba.ed.jp          | 園章  |

### 第2節. 2014年度・平成26年度 幼稚園運営指針

開園37年の実績を基盤に本園幼児教育の推進と充実を図り、「建学の精神」をより太くするため、年度初めに「経営理念」「学園の使命」「教育理念」の三つの柱を再認識の上、運営指針を定めた。

これは、継続してその指針の目標達成に努力すべき事項であり、不変の指針とも言うべき事項である。従って、2014年度・平成26年度においてもこの指針に基づき幼稚園運営を行なった。また、本園全体で実践している「異年齢児による教育活動」の充実を図るため、年度指針を設定した。更に学年ごとに詳細の教育目標を設定、これを全教員共通理解を図り、幼稚園全体の教育内容の充実のため意志統一を行った。

また、当該年度において、平成27年度よりスタートの「子ども・子育て支援新制度」の前段階研究を行い、こども園移行するか否かについて理事会に説明し、現行の通りの私学幼稚園の体制を執る判断を行った。

[2014年度・本園の教育指針並びに学年の教育目標、異年齢児による教育活動の指針については「学校評価」（2015年4月公開）の前段に掲載。また、新制度への移行に際して「移行しない」趣旨は、後記(P38～39)に掲載した。]



### 第3節. 自己評価・学校評価の取り組み

継続して評価項目に沿って「自己点検・自己評価」を学期毎に行い、教員自らが主観的に指導や子どもとの関わりを省みた。そして、総合評価として園長・主任による評価を加え、それを園内における客観的評価と位置付けた。また、学校関係者評価として本園父母会役員の方に意見を求めた。また、本法人理事会に報告の前に理事1名の方、また地域公人として枚方市議会議員の方1名にその内容を説明し、意見を求めた。これにより、学校評価委員は21名の構成とした。その結果の評価は、公開の通りとなった。2015年4月に「2014年度 学校評価・自己評価」として、ホームページにて公開。

### 第4節. 子育て支援事業

#### ① 預かり保育

従前、17時30分まで園児を預かり、「預かり保育」を実施していたが、2012年度より19時迄、預かり時間を延長し、2014年度においても継続して子育て支援事業の充実を図った。また、7月及び8月夏期休業中（夏休み）に19日間の預かり保育実施。冬休みに1日間、春休みにおいては、進級児を対象に1日間の預かり保育を実施した。尚、子育て支援事業の趣旨のみに非ず、従来の教育活動同様に「異年齢児による教育活動」と位置付け、子ども同士の関わりを深めるための指導や援助を実践し、子ども自らが育つ「子育て」の環境を調えた。

#### 通常時・預かり保育/日数/利用人数等実績

| 通常預かり保育 4月～3月 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 預かり保育日数       | 年間168日 | 年間171日 | 年間165日 | 年間182日 | 年間172日 | 年間177日 |
| 預かり保育延べ利用園児数  | 3019名  | 2535名  | 2846名  | 2637名  | 3352名  | 4154名  |
| 一日平均園児数       | 17.9名  | 14.8名  | 17.2名  | 14.4名  | 19.4名  | 23.46名 |

#### 長期休業中・預かり保育/日数/利用人数等実績

保育日数の年度別差異は、暦の関係による

| 夏期 預かり保育 7～8月 | 09年度  | 10年度  | 11年度  | 12年度  | 13年度  | 14年度  |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 預かり保育日数       | 14日   | 16日   | 19日   | 18日   | 20日   | 19日   |
| 預かり保育延べ利用園児数  | 650名  | 746名  | 848名  | 898名  | 862名  | 957名  |
| 一日平均園児数       | 46.4名 | 46.6名 | 44.6名 | 49.8名 | 43.1名 | 50.4名 |

| 春期 預かり保育 3月  | 09～11年度 | 12年度   | 13年度  | 14年度 |
|--------------|---------|--------|-------|------|
| 預かり保育日数      |         | 4日     | 2日    | 1日   |
| 預かり保育延べ利用園児数 | 実施せず    | 85名    | 65名   | 50名  |
| 一日平均園児数      |         | 21.25名 | 32.5名 | 50名  |

| 冬期 預かり保育 12月 | 09年度  | 10年度  | 11年度  | 12年度  | 13年度  | 14年度  |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 預かり保育日数      | 2日    | 2日    | 2日    | 2日    | 2日    | 1日    |
| 預かり保育延べ利用園児数 | 83名   | 98名   | 119名  | 57名   | 40名   | 16名   |
| 一日平均園児数      | 41.5名 | 49.0名 | 59.5名 | 28.5名 | 20.0名 | 16.0名 |

#### ② 園庭開放（未就園児子育て支援）

園庭開放を年間を通じて実施した。未就園児並びに在園児も含め、保護者（家庭）との連携を深めた。尚、参加者は一回のみの参加者、全回参加者も含め**139名**の参加。昨年度の参加数183名と対比すると**75.9%の対比**となり減少した

今後も継続して、園庭開放を実施し、未就園児と保育者の関わりをより広く実践し、幼稚園に対する保護者意識を高めるよう環境を構成し、未就園児保護者の子育て支援事業としていきたい。併せて、就園前の保護者の幼稚園選択の一助となるよう努めたいものである。

|            | 2006/H18<br>07/H19就園 | 2007/H19<br>08/H20就園 | 2008/H20<br>09/H21就園 | 2009/H21<br>10/H22就園 | 2010/H22<br>11/H23就園 | 2011/H23<br>12/H24就園 | 2012/H24<br>13/H25就園 | 2013/H25<br>14/H26就園 | 2014/H26<br>15/H27就園 |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 園庭開放参加者    | 121名                 | 97名                  | 約80名                 | 144名                 | 138名                 | 84名                  | 164名                 | 183名                 | 139名                 |
| 9月入園説明会参加者 | 70名                  | 62名                  | 56名                  | 86名                  | 96名                  | 64名                  | 77名                  | 91名                  | 40名                  |

### ③ 課外教室

継続して、課外教室を展開し「子育て支援事業」として位置づけた。その教室内容は、以下の通り。

- I. アートクラブ [絵画造形活動・教室名=アートクラブ/月曜日開講]
- II. スポーツクラブ [体育活動クラブ・教室名=スポーツクラブ/火曜日開講]
- III. 英語教室 [英語指導教室・教室名=ECC/水曜日開講]
- IV. 幼児知育教室 [知育・教室名=プレイルーム/木曜日開講]
- V. 幼児知育教室 [文字、数の指導・教室名=エンピツらんど/金曜日開講]
- VI. 放課後スイミング[スイミングスクール]

多くの在園児が課外教室を受講し、広く教育機関としての位置づけが成された。尚、スポーツクラブ及びプレイルームにおいては、卒園後（小学生）も課外教室を受講し、地域の教育センター的な要件を備えるに至った。

## 第5節. 教育環境・設備の充実

平成26年12月、園舎の園庭側の防水塗装を行う。これにより、園舎の塗装については段階的に行ってきたが、全園舎の改修塗装を完了したこととなる。また、北園舎2階廊下の絨毯の張り替えを行った。さらに設備の充実を図るため、老朽化した保育室内の乾燥棚(園児作品ロッカー)の全部を平成27年3月に改修を行った。

## 第6節. 納付金の減免 (入園一時金施設協力金の兄弟姉妹関係児減免措置)

保護者の経済的負担を最小限に抑え、兄弟姉妹関係児の保育料減免措置、併せて空調費の減免措置も実施している。この趣旨に則り、さらに平成21年度入園者より入園一時金の内、施設協力費2万円を在園並びに卒園の兄弟姉妹関係の入園者〔納付義務者=保護者〕に対して減免措置を執った。継続して平成26年度入園者について同様の減免措置を適用した。〔園則変更済〕

## 第7節. 大阪府私立幼稚園経常費補助金

平成26年度大阪府私立幼稚園経常費補助金の配分基準により、49,169,000円の補助金交付となった。これは、平成20年度園児数（近年の園児数最少年度）より対比すると17,976千円の増額となる。

経常費補助金 年度別交付実績 (単位千円/下段は学籍数・当該年度5月1日時点)

| 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 38,426 | 38,830 | 35,223 | 33,627 | 34,150 | 31,193 | 36,992 | 40,391 | 42,193 | 41,706 | 46,078 | 49,169 |
| 213名   | 210名   | 191名   | 160名   | 154名   | 139名   | 151名   | 174名   | 191名   | 180名   | 192名   | 221名   |

## 第8節. 枚方市/平成25年度 私立幼稚園幼児教育充実事業補助金

枚方市より、平成22年度から「私立幼稚園・幼児教育助成モデル事業補助金」として補助金交付が成されていたが昨年度より標題の「私立幼稚園幼児教育充実事業・補助金」と名称を変更し、交付されることとなった。その趣旨は、「平成21年度に改定された幼稚園教育要領において、幼児期における教育の重要性が位置づけられ、教育要領改定の趣旨を踏まえた小学校への円滑な接続、地域や家庭との連携等、幼稚園が行う特色ある幼児教育の取り組みに対して、平成21年度から平成23年度までの三年間助成を行うことで幼稚園教育の充実を図る」としていた趣旨を継続して取り組むため交付された。

標題の事業について昨年（平成25年度）に引続き、本園もこれを申請し、補助が成された。（上限30万円）その事業申請の内容は、①地域の自然、人材、行事、公共施設を活用し、幼児に多様な体験をする機会を提供する事業。②幼児教育の充実に資する事業。（園庭開放等）以上の事業の申請により、枚方市より標題補助金30万円の交付決定となった。（2015年3月交付）

## 第9節. 保護者交付各補助金

(枚方市私立幼稚園保育助成金補助金は、枚方市教育委員会より直接保護者に交付)

私立幼稚園就園奨励費補助金をはじめとする2013年度・平成25年度保護者交付金は、以下の金員が京都府並びに各市町村・行政機関より補助金交付となり、本園より保護者に配分した。これにより、私立幼稚園就園児 取り分け本園の保護者負担を軽減し、幼児教育の一層の充実させる趣旨の通り達成された。

| 補助金名称             | 交付学年  | 2014年度     | H26年度 |
|-------------------|-------|------------|-------|
| 大阪府私立幼稚園保育料軽減補助金  | 3歳児   | 2011年度より廃止 | —     |
| 枚方市私立幼稚園就園奨励費補助金  | 3～5歳児 | 18,484,080 | 153名  |
| 京都府私立幼稚園保育料軽減補助金  | 3～5歳児 | 18,000     | 1名    |
| 八幡市私立幼稚園就園奨励費補助金  | 3～5歳児 | 866,000    | 7名    |
| 京都市私立幼稚園就園奨励費補助金  | 3～5歳児 | 18,000     | 1名    |
| 京都市私立幼稚園就園教材補助金   | 3～5歳児 | 862,400    | 7名    |
| 京田辺市私立幼稚園就園奨励費補助金 | 3～5歳児 | 261,400    | 2名    |
| 枚方市私立幼稚園保育助成金補助金  | 3～5歳児 | 6,114,500  | 199名  |

以下、前年度までの配分額 資料

| 補助金名称             | 交付学年  | 2011年度     | H23年度 | 2012年度    | H24年度 | 2013年度     | H25年度 |
|-------------------|-------|------------|-------|-----------|-------|------------|-------|
| 大阪府私立幼稚園保育料軽減補助金  | 3歳児   | 2011年度より廃止 | —     | —         | —     | —          | —     |
| 枚方市私立幼稚園就園奨励費補助金  | 3～5歳児 | 9,733,100  | 105名  | 9,049,300 | 118名  | 10,525,600 | 113名  |
| 京都府私立幼稚園保育料軽減補助金  | 3～5歳児 | 540,000    | 30名   | 270,000   | 15名   | 144,000    | 8名    |
| 八幡市私立幼稚園就園奨励費補助金  | 3～5歳児 | 1,788,400  | 18名   | 735,600   | 8名    | 1,460,400  | 8名    |
| 京都市私立幼稚園就園奨励費補助金  | 3～5歳児 | 140,400    | 3名    | 211,800   | 3名    | 238,400    | 3名    |
| 京都市私立幼稚園就園教材補助金   | 3～5歳児 | 494,000    | 9名    | 164,000   | 7名    | 95,600     | 4名    |
| 京田辺市私立幼稚園就園奨励費補助金 | 3～5歳児 | 111,000    | 1名    | 114,000   | 1名    | 0          | 0名    |
| 枚方市私立幼稚園保育助成金補助金  | 3～5歳児 | 5,314,400  | 160名  | 5,437,200 | 159名  | 5,855,800  | 177名  |

## 第10節. 組織運営体制

### ① 学校法人山口学園 運営体制 [理事長・理事会の役割と責任]

従前より前理事長・山口亨は、体調不調が続き、幼稚園に赴いての現認することが困難な状況となった。そのため法人業務及び幼稚園業務運営については、代表権のある副理事長・山口尚志(園長)がこれを執行し、何ら差し障りのない処理を行い、業務を遂行している状況であった。これは、副理事長(園長)が理事長に詳細にわたり報告・説明を成し、法人運営について円滑化されている点、併せて、私立学校法改正の際に、本法人の代表権のある副理事長としたことより、何ら問題が生じていない現状であった。平成26年度においては、前述の法人体制を調える趣旨を以て平成26年3月31日付、理事長職を山口亨は退任し、同年4月1日付を以て、山口尚志が理事長に就任した。これにより、代表権の有る副理事長職は、山口尚志が理事長に就任したことにより空席となった。

新理事長・山口尚志のもと新たな時代に向けての本園教育の体制を調べ、前理事長(創立者)の建学の精神を確固たるものにと取り組んでいたところであるが、残念なことに平成26年7月に前理事長・山口亨は逝去した。理事長・山口尚志は、創立者故に学園葬を執り行う見識もあったが山口家告別式を以ての対応とした。

また、平成27年4月よりスタートとなる「子ども・子育て新制度」による、認定こども園移行に関して、園長(理事長)は、内閣府・大阪府等の主催する研修に出席、併せて枚方市の動向等を確認し、平成26年夏にこども園移行に関する「判断並びに見解」を理事会に示した。理事会は、理事長(園長)山口尚志の説明をもとに、従前の学校法人幼稚園にて当面、運営することを確認した。[こども園に移行しない見解は、後記掲載。(また学校評価P38以降に掲載)]

続いて、12月理事会において、前理事長・山口亨の逝去により欠員が生じた理事に山口哲也(くずは青葉幼稚園教員)が選任された。併せて欠員であった評議員の選任が成され、学校法人山口学園の理事・評議員の定数は満たすこととなった。前述の理事選任と併せて平成27年3月末を以て任期満了となる理事の重任について理事会・評議員会は承認した。この他に通例の「決算」「予算」についての定例の理事会を開催した。

② 幼稚園運営体制

従前通り、「園務分掌規程」に基づき、業務を分掌し、合理的で機能的な幼稚園運営を図った。また「行事担当分掌」についても職員の責任と自覚のもと遂行され、反省課題はあるものの円滑な園運営がなされた。

第11節. 教員の資質向上

① 園内における保育研究

平成26年度、園内での「研究保育」を実施した。当該保育内容について全教諭より、指導助言等を行い総合評価を行った。全教諭は、研究保育及び評価反省会を日々の保育に活かした。

|                        | 研修日時        | 研修内容 |                | 研修者  |
|------------------------|-------------|------|----------------|------|
| 1                      | 2014年 5月 9日 | 製作活動 | 汽車製作 年少・たんぽぽ組  | 西 教諭 |
| 2                      | 2014年 5月13日 | 描画活動 | 遠足経験画 年少・ふじ組   | 新明教諭 |
| 3                      | 2014年 5月13日 | 音楽活動 | 鍵盤ハーモニカ 年長・ゆり組 | 長倉教諭 |
| 4                      | 2014年 5月14日 | 製作活動 | 折り紙製作 年中・きく組   | 満村教諭 |
| 5                      | 2014年 5月20日 | 製作活動 | あじさい製作 年少・ばら組  | 村瀬教諭 |
| それぞれの研究保育の後、評価・反省会議を実施 |             |      |                |      |

② 園外における研修

平成26年度、園外での「研修会」に下記の通り、参加した。この他に枚方市私立幼稚園園長会にて園長研修。

|   | 研修日時        | 研修内容  | 研修者                            |
|---|-------------|---|--------------------------------|
| 1 | 2014年 4月20日 | 幼児期の発達障害の子どもに見られる問題の理解と対応<br>大阪医科大LDセンター            | 主任 秋吉由布子                       |
| 2 | 2014年 4月30日 | 幼保連携認定子ども園の認可基準について<br>枚方市私立幼稚園 園長会                 | 園長 山口尚志                        |
| 3 | 2014年 5月28日 | 設置者・園長研修会<br>大阪府私立幼稚園連盟京阪支部                         | 園長 山口尚志                        |
| 4 | 2014年 5月29日 | 設置者・園長研修会 「私立幼稚園にとって最適な着地点とは No.1」<br>大阪府私立幼稚園連盟    | 園長 山口尚志                        |
| 5 | 2014年 6月 5日 | 設置者・園長研修会 「私立幼稚園にとって最適な着地点とは No.2」<br>大阪府私立幼稚園連盟    | 園長 山口尚志                        |
| 6 | 2014年 7月11日 | 設置者・園長研修会 「子ども・子育て新制度 研修」<br>大阪府私立幼稚園連盟 大阪府私学・大学課   | 園長 山口尚志                        |
| 7 | 2014年 8月20日 | 児童虐待問題研修会<br>枚方市児童虐待問題連絡会議                          | 園長 山口尚志<br>主任 秋吉由布子            |
| 8 | 2014年 8月28日 | 子ども・子育て支援新制度の利用者負担の件<br>枚方市私立幼稚園 園長会                | 園長 山口尚志                        |
| 9 | 2015年 1月15日 | 発達障害の基礎知識<br>さまざまな特性をもつ子どもの理解と支援<br>枚方市障害児等関係機関連絡会議 | 園長 山口尚志<br>主任 秋吉由布子<br>教諭 山口哲也 |

第12節. 園児健康管理 職員の健康管理[職員健康診断、平成26年6月実施 園医・石塚健二]

平成26年度中に下記の園児健康管理を行った。

- ① 毎月（8月度は除く）身長、体重の測定 ② 5月、9月、12月、3月 胸囲、座高の測定。
- ③ 学校保健法により右記の健康診断を実施。検尿検査5月、寄生虫検査5月、歯科検診6月、内科検診6月実施  
4歳児・5歳児については視力検査を実施。
- ④ 園児健康管理上において特記すべき事項

インフルエンザの罹患状況

2014年4月以降の園児インフルエンザ罹患による欠席状況は、11月を最初の罹患からはじまり、年度末において37名となった。尚、学級単位の臨時休園措置（学級閉鎖）は、対処なしとなった。2月11日を以て、インフルエンザ罹患は終息した。昨年は86名の園児がインフルエンザ罹患となったが、本年は半数以下の罹患となった。

| 日 時   |     |      |    |    |    |    |    |     |    |    | 罹患児合計 |    |
|-------|-----|------|----|----|----|----|----|-----|----|----|-------|----|
|       | すみれ | たんぽぽ | ばら | もも | ふじ | うめ | きく | さくら | たけ | ゆり | 当日合計  | 累計 |
| 11/28 |     |      |    | 1  |    |    |    |     |    |    | 1     | 1  |
| 12/19 |     |      |    |    |    |    |    | 1   |    |    | 1     | 2  |
| 12/21 |     |      |    |    |    |    |    | 2   |    |    | 2     | 4  |
| 12/22 |     |      |    |    |    |    |    |     | 1  |    | 1     | 5  |
| 01/06 | 1   |      | 1  | 1  |    |    |    |     |    |    | 3     | 8  |
| 01/14 |     |      |    |    |    |    |    |     |    | 1  | 1     | 9  |
| 01/20 |     |      |    |    |    |    | 1  |     |    |    | 1     | 10 |
| 01/22 |     |      |    |    |    |    | 1  |     |    |    | 1     | 11 |
| 01/23 |     |      |    |    |    |    | 1  |     | 1  |    | 2     | 13 |
| 01/24 |     |      |    | 1  |    |    |    |     |    |    | 1     | 14 |
| 01/26 |     |      |    | 2  |    |    |    |     |    |    | 2     | 16 |
| 01/29 | 1   |      |    |    |    |    |    |     |    |    | 1     | 17 |
| 01/30 |     |      |    |    | 1  |    |    |     |    |    | 1     | 18 |
| 02/02 |     |      |    | 1  | 1  |    |    | 2   |    |    | 4     | 22 |
| 02/03 |     | 1    |    |    |    |    |    | 1   |    |    | 2     | 24 |
| 02/08 |     | 1    |    |    |    |    | 2  |     | 1  |    | 4     | 28 |
| 02/09 |     |      |    |    |    | 1  | 3  | 1   |    |    | 5     | 33 |
| 02/10 |     |      |    |    |    |    | 2  |     |    |    | 2     | 35 |
| 02/11 |     |      |    |    |    |    |    | 1   |    | 1  | 2     | 37 |

第13節. 幼稚園行事（事業）の概要 報告

|       |           |       |            |       |           |
|-------|-----------|-------|------------|-------|-----------|
| 04/03 | 第38回 入園式  | 09/02 | 2学期始業式     | 01/08 | 3学期始業式    |
| 04/11 | 1学期始業式    | 09/20 | 運動会        | 02/03 | 節分        |
| 05/01 | 子どもの日の集い  | 09/29 | 敬老の集い      | 02/14 | 生活発表会     |
| 05/08 | 遠足（枚方パーク） | 10/10 | 遠足（琵琶湖博物館） | 02/18 | 小学校交流会    |
| 06/05 | 内科検診      | 10/16 | いもほり       | 03/03 | 雛祭り       |
| 06/11 | 歯科検診      | 11/08 | 作品展        | 03/09 | お別れ会      |
| 06/15 | 日曜参観      | 11/13 | 移動動物園      | 03/16 | 第38回 卒園式  |
| 07/04 | お泊まり保育    | 12/01 | 楽団公演       | 03/19 | 平成26年度終了式 |
| 07/18 | 1学期終了式    | 12/11 | 音楽会        |       |           |
| 07/26 | 青葉まつり（夏祭） | 12/22 | 2学期終了式     |       |           |



## 第14節. 学籍報告・学事報告

平成26年度 学籍 2014年5月1日現在 3歳児95名 4歳児78名 5歳児47名 合計220名

| 年少学年 | 学籍  | 男児  | 女児  |
|------|-----|-----|-----|
| すみれ  | 19  | 10  | 9   |
| たんぽぽ | 19  | 10  | 9   |
| ばら   | 19  | 10  | 9   |
| もも   | 19  | 9   | 10  |
| ふじ   | 19  | 10  | 9   |
| 小計   | 95  | 49  | 46  |
| 年中学年 | 学籍  | 男児  | 女児  |
| うめ   | 26  | 14  | 12  |
| さくら  | 26  | 13  | 13  |
| さくら  | 26  | 13  | 13  |
| 小計   | 78  | 40  | 38  |
| 年長学年 | 学籍  | 男児  | 女児  |
| たけ   | 24  | 14  | 10  |
| ゆり   | 23  | 14  | 9   |
| 小計   | 47  | 28  | 19  |
| 全学年  | 学籍  | 男児  | 女児  |
| 合計   | 220 | 117 | 103 |

平成26年度 卒園児就学小学校 (就学は平成27年度)

| 就学 小学校 | たけ      | ゆり | 合計 |    |
|--------|---------|----|----|----|
| 枚方市立   | 樟葉北 小学校 | 4  | 4  | 8  |
|        | 樟葉      | 6  | 5  | 11 |
|        | 樟葉西     | 3  | 5  | 8  |
|        | 船橋      | 2  | 2  | 4  |
|        | 樟葉南     | 2  | 3  | 5  |
|        | 殿山第二    | 1  | 1  | 2  |
|        | 西牧野     | 1  | 0  | 1  |
|        | 招提      | 0  | 1  | 1  |
| 八幡市立   | 平野      | 1  | 1  | 2  |
|        | さくら     | 1  | 0  | 1  |
| 京田辺市立  | 美濃山     | 0  | 1  | 1  |
|        | 桃園      | 1  | 0  | 1  |
| 西宮市立   | 高木      | 1  | 0  | 1  |
| 精華町立   | 精華台     | 1  | 0  | 1  |
|        | 合計      | 24 | 23 | 47 |

## 第15節. 財務状況報告[重要事項報告]

2014年度・平成26年度の財務状況については、法人監事2名及び監査法人・公認会計士より、適正に運営されていると認められた。計算書類〔消費収支計算書・資金収支計算書・貸借対照表・財産目録〕については、後に本書とは別に本園オフィシャルホームページにてこれを報告・公開する。尚、特記すべき項目は、施設設備改修にともなう支出が増額となった。

**重要な報告** 2014年2月、前理事長・故、山口亨より個人の所有する土地を学校法人山口学園に寄付する旨の意向を示された。これは、開園以来 理事長個人の土地を無償で貸与し、幼稚園教育に供していたところである。同年3月の理事会において、理事長の意思を受け承認された。尚、今般の土地寄付により法人が所有する園地はすべて自己所有となった。また、故 山口亨が法人に寄付した土地は、7筆・2164.1㎡。法人が自己所有の園地3222.0㎡と合わせて5376.1㎡となった。学校法人山口学園の基本財産は1億5,470万円の増加となる。

## 第16節. その他の報告

### ① 未就園児教室の開講

未就園児教室キディクラブを開講。業務提携(委託)を齋エルステップスに業務委託し、本園と補完関係を執りながら未就園児子育て支援事業を行った。また親子未就園児教室として、あおば教室は、齋学研と業務提携(委託)し、本園入園予定児をその会員として子育て支援事業とした。

② 未就園児（在園児）園庭開放・未就園児親子体操教室の実施

子育て支援事業として「園庭開放」を実施した。2014年4月より、2015年3月までの期間、土曜日午前中の開催とし、年間継続して10日間実施。また、夏まつり（青葉まつり7月）、運動会（9月）、作品展（11月）に招待し、子育て支援を図った。加えて、未就園児親子体操教室を平日の月曜日に3回開催。毎回約25名程度の参加者となり子育て支援の一環として地域の子育て支援対応を充実させた。

③ 小学校との連携・交流

2015年2月18日、枚方市立樟葉北小学校のご理解とご協力のもと、2年生児童と交流会を実施した。本園年長児が就学への期待を高め、且つ異年齢児による交流を深め「人間関係・コミュニケーション」の育成に教育効果があった。

④ ホームページの更新と情報公開 以下の通り、ホームページ更新を行ない「情報公開」を行った。

「園日誌」というタイトルにて日々の園児の生活の様子教育活動等を情報公開した。（園児画像等についての掲載については、年度初に保護者より全て了承を得、公開した）このことにより、広く幼稚園教育内容や本園の教育方針を十分に一般的に理解を得ることができたものと確信する。

**【2014年度「自己評価・学校評価」並びに「事業活動報告」を2015年4月に公開】**

|            |   |
|------------|---|
| 2015.04.01 | 「情報公開／自己評価・学校評価」「保護者の皆様へ／お知らせ・情報発信／危機管理マニュアル」を更新  |
| 2015.03.31 | 「幼稚園ニュース・補助金について・子どもたちの生活・科学あそびの導入・一年の流れ・一日の流れ」<br>「園長先生のごあいさつ・教育指針・園児募集要項・充実の課外教室・リンク集・入園説明会・園庭開放」更新 |
| 2015.03.26 | ホームページリニューアル  |
| 2015.03.04 | 「入園説明会／園庭開放のお知らせ」更新   |
| 2015.02.01 | 「未就園児教室／あおば教室」更新  |
| 2015.01.23 | 「未就園児教室／あおばキディクラブ」更新  |
| 2014.12.17 | 「感動の声・作品展」追加 「感動の声・入園志望の動機」更新   |
| 2014.10.07 | 「感動の声・運動会」更新  |
| 2014.09.01 | 「園児募集要項」「学費・納付金」更新  |
| 2014.07.24 | 「幼稚園概要」「沿革」更新   |
| 2014.06.28 | 「ご入園までのスケジュール」更新  |
| 2014.06.09 | 「沿革」更新  |
| 2014.05.22 | 「正課英語指導の導入」追加   |
| 2014.04.25 | 「充実の課外教室」更新   |
| 2014.04.01 | 「幼稚園概要・情報公開」更新  |

⑤ 高齢者との交流会 年長児・枚方市立くずは北サービスセンター訪問事業

2014年度においても年間10回、下記の学級別の日程で訪問した。高齢者と手遊びやゲーム等を楽しく行ない、関わりを深めた。園児は、「高齢者を敬う心」はもちろんのこと「人との関わり」の大切さを体得した。（2月は2クラス合同で訪問）

|    |      |      |       |       |      |               |
|----|------|------|-------|-------|------|---------------|
| たけ | 5/20 | 6/23 | 10/24 | 12/02 | 2/27 | 2/27は2クラス合同訪問 |
| ゆり | 6/06 | 7/10 | 11/04 | 11/18 | 2/27 | 各クラス年間5回の訪問   |

⑥ 2014年度 通園バス運行

大型幼児専用バス（ライオン仕様・いぬ仕様）2台、小型幼児専用バス（普通車ライオン仕様）1台、合計3台の通園バスにより、各バス3方面（コース）合計9方面（コース）の路線を編成し運行した。当初より、大阪府大学私学課の指導による「通園バス園児乗車最大時間40分」を厳守しスムーズな運行の改編とし、園児に長時間乗車に対する負担のなきようにした。通園バス利用園児数は、167名となり全園児220名に対して、75.9%の割合となった。

⑦ 銀行借入金に関して

**銀行借入利息変遷の経緯** 平成19年11月に借入先、京都銀行くずは支店に借入利率の縮小を依頼、協議の結果、

0.25%引下げの合意が成され3.125%の借入利率となり平成20年度予算作成に至った。また、平成21年度中において借入利率について京都銀行との協議交渉の結果、2.925%となった。さらに平成22年度5月に社会情勢等諸般事情を踏まえ再度借入利率の協議交渉の結果、2.425%と条件変更の契約を実施。その後、年度内10月、園児募集・入園願書受付を行ない、おおよその次年度学籍が見込める状況となり、再度借入利率の条件変更について申し入れ、協議の結果、同年12月末日返済時より、2.175%の借入利率の条件変更契約を締結した。2011年度において更なる借入利率の条件変更を申し入れ、協議の結果2.075%の条件変更が、平成23年年12月に契約更新を行った。続いて2012年・平成24年11月30日、再度の借入利率の協議に入り、**1.975%の条件変更**に合意し、0.1%の利率改定が成された。平成19年より対比すると、1.15%の利率引き下げが実現した。これらは、本園にとって財務運営上、好ましい方向となった。

また、2013年11月に借入金5件の内、1件が完済となり4件となった。元金の返済額についてはこれを従前と同額とした。2014年9月においてさらに1件が完済となり3件となった。

⑧ 園則変更について

平成27年度よりの納付金改定(月額24,770円の保育料を25,000円に改定→年額297,240円を300,000円に改定)について園則の変更届を大阪府・私学大学課に届け出た。

⑨ 2014年度 給食実施状況・食育の取り組み状況

年間、98回の給食を供給した。(年長児は、卒園までの日程により2食分少なく96回)入園・進級当初(4月)は「集団で食する食事」としての安定に重点をおき、食べやすい環境を調べメニューは「パン給食と牛乳」を中心とし、5月より米飯給食の供給をはじめた。また、米飯給食は、アレルギー対応食を個別に供給し、「食の安全」を確保し、経常的に「無農薬米・無農薬野菜」を食材として採用した。また、特別食として ちらし寿司、きつねうどん揚げそばの中華あんかけ、スパゲティ等、メニューの充実に努めた。園児にとって和やかでおいしい給食の位置づけが成された。また「食育」の一環として、栄養の三要素の話等、食育に関する指導を行ない、食に対する意識の向上に努めた。さらに、「餅つき(=お餅を食す)」「芋ほり(=収穫の喜びと同時に蒸かし芋を食す)」「雛祭り(=由来を知りちらし寿司を食す)」等の行事を通して園児の食への関心を深める指導を実践した。

※ 2014年度・年間給食実施状況→

資料 2013年度 年間給食実施状況 ↓

| 月  | パン給食 | 米飯給食 | 給食回数 | 月  | パン給食  | 米飯給食  | 給食回数 |
|----|------|------|------|----|-------|-------|------|
| 4  | 3    | 0    | 3    | 11 | 4     | 6     | 10   |
| 5  | 4    | 6    | 10   | 12 | 2     | 5     | 7    |
| 6  | 4    | 7    | 11   | 1  | 3     | 6     | 9    |
| 7  | 2    | 4    | 6    | 2  | 4     | 7     | 11   |
| 8  | 0    | 0    | 0    | 3  | 2     | 5     | 7    |
| 9  | 3    | 8    | 11   | 計  | 35    | 62    | 97   |
| 10 | 4    | 8    | 12   |    | 36.1% | 63.9% | 100% |

| 月  | パン給食 | 米飯給食 | 給食回数 | 月  | パン給食  | 米飯給食  | 給食回数  |
|----|------|------|------|----|-------|-------|-------|
| 4  | 4    | 0    | 3    | 11 | 3     | 6     | 12    |
| 5  | 3    | 7    | 10   | 12 | 2     | 6     | 7     |
| 6  | 3    | 9    | 11   | 1  | 3     | 6     | 10    |
| 7  | 2    | 4    | 6    | 2  | 4     | 6     | 10    |
| 8  | 0    | 0    | 0    | 3  | 2/3   | 4/5   | 6/8   |
| 9  | 3    | 7    | 11   | 計  | 33/34 | 63/64 | 96/98 |
| 10 | 4    | 8    | 12   |    | 34.6% | 65.4% | 100%  |

⑩ 「科学あそび」の導入について

教育事業については、「科学あそび」[学研・講師派遣型]を年長学年に年間6回(2クラス故、年間12回)開講し、園児の科学遊びを通じての「考える力」「自分で試してやってみる力」を育む保育に取り組んだ。その教育効果と子ども達の興味、関心の度合いは、予想通り年長児たちの眼の輝きがあり、科学に対する興味関心を培うこととなった。新年度からの実践の方向性がみだせた。取り組み導入の趣旨は、子ども達に、より魅力的な幼児教育を実践し、遊びを通して知的刺激を与え環境を調べていくことを目標とする。そして、身の回りの不思議だと感じる感性と、なぜと思う知的な好奇心で、子ども達が夢中になって遊ぶことをより育むこと、子ども達が初めて「おもしろい」と思ったことを「好きなこと」にしていくこと。さらに「不思議、なぜ?」を楽しくあそびながら、自由にその子らしく感じていく、これが科学への取り組みの最初の一歩と確信し、より幼児の成長に期すことを目標として取り組んでいくこととし、2015年度も継続導入とした。

## ⑪ 中学生の「職場体験学習」受け入れ

例年の通り、中学生の職場体験学習として、2014年10月に2日間、枚方市立楠葉中学2年生4名。2015年1月に2日間、楠葉西中学2年生を受け入れた。園児の登園前の準備から降園にいたるまで、園児との活動を共にし、幼稚園教諭の職業内容を中学生なりに理解したようである。

## ⑫ 次年度 2015年度・平成27年度学籍について

2014年10月1日、入園願書受付にて74名の入園志望があった。これにより、新年度学籍は年少学年69名、年中学年96名、年長学年76名、合計241名の学籍となる。

## ⑬ 第10節に関連して特記〔認定こども園への移行について〕

平成24年8月にできた法律「子ども・子育て関連3法」をもとに「子ども・子育て支援新制度」が、さまざまな課題が解決されないまま、平成27年4月からスタートとなる。この新制度をもとに、幼稚園、認定こども園、保育所の在り方が整備され、子育て支援のための大切な制度とされ、その目的は、子育ての負担を減らすこと、待機児童問題の解消、少子化に歯止めである。この制度で私立幼稚園は大きく分けると3つのタイプになり、どのタイプの幼稚園に通園するかを保護者の選択となる。一つは、新制度に移行しない私立幼稚園。新制度に移行する私立幼稚園。そして新制度の認定こども園となる。

これらの状況の中、本園は建学の精神のもと、これまでの特色付けてきた本園の歴史と伝統のある幼児教育を守り継続したいという思い、「私学として、教育機関として」の幼稚園の位置づけから、現行制度の学校法人・私立幼稚園として残ることとした。

### 何故、新制度に移行しないか

新制度においては補助金制度の在り方や受け入れる園児の年齢等により、施設型給付を受ける幼稚園、認定こども園、私学助成を受ける現行のままの幼稚園とに分かれるが、いずれの幼稚園においても幼児教育の充実・発展を目指して取り組むことに変わりはない。然るに新制度においては、保育を必要とする幼児で施設利用のための2号認定を受けると原則として幼稚園に入園できず、保育所と同様、市町村による施設の斡旋が行われ、保護者が希望する施設に入れない場合がある。本園はこれまで通りの園児受入れの方針とし、施設利用のための市町村の認定は必要なく、保育を必要とする幼児にはこれまで通り、「預かり保育」を行うなど、現行のままの幼稚園として取り組むこととした。

認定こども園の「ねらい」は下記の3点に集約できる。この「ねらい」の視点・ポイントによる本園の分析と所見は以下の通りである。

- ① 幼保一元化による質の高い幼児期の学校教育・保育の提供
- ② 待機児童問題解消のための保育の量的拡大・確保
- ③ 地域の子ども・子育て支援の充実

①に関しては、総ての子どもに質の高い幼児教育を提供することは必然である。では、本園が実践している幼児教育の質を高めようとした場合、実践すべきことは「建学の精神拡大に向けて努力研鑽すること」「教育方針や指導方針の改善・充実」「教職員一人一人の保育力の向上」等である。決して「認定こども園への移行」により本園の幼児教育の質が高まるということではない。私立幼稚園・学校法人幼稚園のままであっても認定こども園であっても、実践する幼児教育の質を高めることは必要なことである。そのため、「本園の幼児教育の質を高める」ために「認定こども園へ移行」するという理論はなりたたない。

また、子ども子育て新制度では現状の私立幼稚園運営と比較した場合、事務量が増大することが予想される。さらに、預かり保育の一時預かり事業への移行や公定価格の導入による保育料の変化等により、子ども及び保護者に与える影響が決して小さいとは考えられない。そのため、上記の問題による影響が限りなく小さいと判断することができない現時点での移行は、リスクが高いと考えられる。

さらに、子ども子育て新制度の移行により「私学の公共性と自主性」のバランスが崩れ、自主性が失われるのではないかという懸念もある。私学の自主性が失われるということは、前理事長・創立者である山口亨が幼稚園設立思考し、38年間という長きにわたりその建学の精神を拡大させてきた「もの」を「縮小化」ということ認識が生じる。それは即ち、設立・創立から現在までの本園の幼児教育を肯定できないということである。もちろん新制度において「私学の自主性・独自性」が保証されるべきであるが、現状では“何とも言いえない”という観点が大きい事実がある。「本園の幼児教育の質を高める」ことは「建学の精神の拡大に向けて努力研鑽すること」である点と考えるのは上記において述べた通りである。すなわち、本園の幼児教育の質を高めるところか低くする可能性すら秘めているという認識が過ぎる側面を持つと認識するところである。

②に関しては、当園においても早朝保育・延長保育をとりいれ、11時間保育を実施しており、保育所と比較しても遜色ない保育時間である。また、待機児童問題で主に問題となっているのは0歳児から2歳児の所謂、乳児期の子ども達である。残念ながら、本園には乳児保育の実績・ノウハウは無いのが実情である。そのため、今すぐに乳児保育を実施するということは、現実的には考えられない。つまり、幼保連携型は無論、幼稚園型認定こども園への移行を決断したとしても、保育の量の拡大には至らないということである。

③に関しては、地域の子ども・子育て支援の充実は、新制度下においてのみ可能というわけではない。現状の私立幼稚園でも可能であると考え。園庭開放や未就園児教室等既に実施している。必要とされる、実施すべき地域の子ども・子育て支援とは何なのかという次元から考え、実践することが大切であると考え。

平成26年初夏の時点において、上記のことを総て鑑みた場合、子ども・子育て新制度に移行することが必然とは考えられない。現状の私立幼稚園として地域の幼児教育、子育て・子育てに貢献していくことこそが、本園に求められる役割であり使命であると考え。目先の補助金の増額に惑わされることなく、使命を果たす為にも「私立幼稚園・学校法人山口学園くずは青葉幼稚園」として存続する英断に至る。

尚、今後の法令並びに内閣府・関係機関の動向、とりわけ枚方市及び近隣市町村の当該内容についての方針・施策等を十分に調査並びに研究を行い、冒頭の新制度のねらいの達成について努力することを特記する。



## 第17節. 沿革 -1

|                    |   |
|--------------------|---|
| 昭和51年<br>1976年     | 5月2日 前理事長・故、山口亨「建学の精神」を考察   |
| 昭和52年<br>1977年     | 2月22日 学校法人山口学園 法人認可を大阪府知事より受ける<br>4月10日 第1回入園式挙行<br>園地（開園当時） 合計 4249.0m <sup>2</sup> （1287.5坪）<br>園舎面積 402.9m <sup>2</sup> 延床面積 855.7m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造り〔保育室5室、遊戯室1室、職員室、園長室の構成にて開園〕<br>学籍園児数 79名（4歳児48名、5歳児31名）幼稚園教育事業開業 |
| 昭和53年<br>1978年     | 開園二年を経過し、園児数増加を見込み、園舎増築を検討、計画。学籍園児数184名。  |
| 昭和54年<br>1979年     | 園舎増築工事完成 園舎面積 466.6m <sup>2</sup> 延床面積 874.8m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造保育室・新職員室増築。学籍園児数274名。   |
| 昭和55年<br>1980年     | 園児数増加により、第二次園舎増築を検討、計画に入る。 学籍園児数335名。   |
| 昭和56年<br>1981年     | 園舎増築工事完成 園舎面積 83.1m <sup>2</sup> 延床面積 139.2m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造 保育室2室を増築。学籍園児数376名。   |
| 昭和57年<br>1982年     | 園児数増加により、遊戯室新築を検討、計画に入る。 学籍園児数464名。   |
| 昭和58年<br>1983年     | 遊戯室増築工事完成（新游戯室） 園舎面積 317.4m <sup>2</sup> 延床面積 317.4m <sup>2</sup> 鉄骨造 遊戯室増築。在籍数528名。  |
| 昭和59年<br>1984年     | コンピュータ導入し学籍管理他の処理を開始。学籍園児数507名  |
| 昭和61年<br>1986年     | 開園10周年記念事業として「幼児教育セミナー」開催〔講師：井上敏明（教育評論家・六甲カウンセリング研究所所長）講演〕記念誌 タブロイド版20頁作成、園児、卒園児に記念下敷配付。学籍園児数444名。前年度対比63名の園児数減   |
| 昭和62年<br>1987年     | 園児定員500名を大阪府に申請（定員増申請）400名の認可を受ける。 学籍園児数409名  |
| 昭和63年<br>1988年     | 学費口座引落処理をコンピュータ処理開始〔銀行口座振替システム運用〕 学籍園児数330名。前年度対比79名の園児数減少。   |
| 昭和64年平成元年<br>1989年 | 学費(保育料)年間、156000円に改定。 学籍園児数337名   |
| 平成 2年<br>1990年     | 文部省幼稚園教育要領の改訂により園則変更する。就業規則等改定、労働環境の整備を図る。学籍園児数364名。（前年度対比27名の園児数増）   |
| 平成 3年<br>1991年     | 幼稚園パンフレットタブロイド版8頁作成。開園15周年記念として父母会より「太陽電池時計」寄贈。学籍園児数307名。（前年度対比57名の園児減少）  |
| 平成 4年<br>1992年     | 学校週5日制を導入 園則変更する（平成4年9月より実施）文部省幼稚園教育要領の趣旨に則り少人数学級編制を採用、園則変更。（1組40名定員を35名定員変更、3歳児は25名定員）学籍園児数291名。   |
| 平成 5年<br>1993年     | 米飯給食を導入。 学費(保育料)年間、168000円に改定。学籍園児数233名。（前年度対比58名の園児減少）   |
| 平成 6年<br>1993年     | 米飯給食を導入し、給食の充実を図る。 学籍園児数231名。   |
| 平成 7年<br>1995年     | 園地の拡大、合計 5386.1m <sup>2</sup> （1632.1坪）<br>前理事長・故、山口亨 大阪府知事より教育功労者表彰 受彰<br>青葉スポーツクラブ創設（スポーツクラブ開設）第2回 枚方チャイルドサッカー大会出場優勝幼児体育指導を教育課程に編纂。学校週5日制を導入の拡大、園則変更する（平成7年4月実施） 学籍園児数202名。   |

## 第17節. 沿革 -2

|                |   |
|----------------|---|
| 平成 8年<br>1996年 | 開園20周年を迎え、諸行事等の見直しを行う。学費（保育料）年間、204000円に改定。学籍園児数222名（前年度対比20名の園児数増）   |
| 平成 9年<br>1997年 | 預かり保育の実施、子育て支援の充実を図る。学費(保育料)年間、228000円に改定。学籍園児数221名。  |
| 平成10年<br>1998年 | 夏期保育の長期化並びに夏期保育中の預かり保育拡大。学籍園児数233名。   |
| 平成11年<br>1999年 | 少子化対策臨時交付金（補助金）にて園舎・保育室改修工事を実施。学費管理システムPCソフト導入。学費(保育料)年間225000円に改定。学籍園児数223名。   |
| 平成12年<br>2000年 | ホームページ開設 情報公開並びに幼稚園教育内容広報発信を開始。故、山口亨園長退任、山口尚志園長就任。学籍園児数229名。  |
| 平成13年<br>2001年 | 入園願書、Emailにて入園受付開始。学籍園児数212名。   |
| 平成14年<br>2002年 | 食育をテーマに講演会開催 講師:大和学園理事長 田中幸雄氏。学籍園児数214名。  |
| 平成15年<br>2003年 | 園舎改修[体育倉庫、備品倉庫、年少保育室空調設備設置]学籍園児数213名。   |
| 平成16年<br>2004年 | 異年齢児複合教育活動の本格化（縦割り保育）父母会運営組織の変革。全保育室並びに遊戯室に空調設備を完備。学籍園児数210名。   |
| 平成17年<br>2005年 | 課外教室として幼児英語教室（ECC）、幼児プレイルーム（学研）、未就園児教室を開講。異年齢児複合教育活動（縦割り保育）の継続。教育講演会開催 講師:大和学園理事長 田中幸雄氏。学籍園児191名。   |
| 平成18年<br>2006年 | 開園30周年を迎える。園庭開放を実施し、未就園児子育て支援事業に取り組む<br>異年齢児複合教育活動（縦割り保育）の継続。課外教室エンピツらんど開講。理事山口尚志、法人の代表権を有する副理事長就任。 学籍園児数160名（前年度対比31名の園児数減少）   |
| 平成19年<br>2007年 | 園庭開放を継続実施し未就園児子育て支援事業を拡大。異年齢児複合教育活動（縦割り保育）の継続。課外教室「こどもアートクラブ」開講。園内改修[預かり保育室・年中園舎手洗い場・園庭西花壇・園地周りフェンスの改修] 学籍園児数154名。  |
| 平成20年<br>2008年 | 園庭開放日を月2回とし未就園児子育て支援事業を拡大。未就園児教室キディクラブ開講。夏休み預かり保育開始。給食内容について改良改善、従来にましてアレルギー食への対応を実施。学籍園児数139名（前年度対比15名の園児数減少）  |
| 平成21年<br>2009年 | 学校評価・自己評価をホームページに公開、併せて財務状況について公開。異年齢児による教育活動のより充実に努め、その活動期間の長期化を図る。園庭開放を継続実施。夏休み預かり保育の拡大実施並びに冬休み預かり保育の実施。年度末（2010年3月）に平成22年度向け、保育室6室改修工事（室内手洗場、保育室ドア改修他）並びに園内花壇の安全改修工事を実施。その他の改修工事（屋上防水塗装、園庭境界部分塗装の各修繕工事）を実施完了。学籍園児数151名 |
| 平成22年<br>2010年 | 学校評価・自己評価、財務状況について公開。園庭開放事業を継続。平成21年度に引き続き、保育室改修工事を施工し、園児教育環境整備を整える。学籍園児数175名   |
| 平成23年<br>2011年 | 学校評価・自己評価、財務状況について公開。園庭開放事業を継続。学籍園児数191名  |
| 平成24年<br>2012年 | 書学校評価・自己評価、財務状況について公開。園庭開放事業を継続。学籍園児数180名。[中規模改修工事を実施]  |
| 平成25年<br>2013年 | 学籍園児数192名。[小規模改修工事を実施]<br>年度末を以て学校法人山口学園理事長山口亨辞任。後任に園長・山口尚志を選任  |
| 平成26年<br>2014年 | 学籍園児数220名。[中規模改修工事(園舎塗装改修、その他)を実施]<br>学校法人山口学園・前理事長山口亨逝去。こども園移行について審議、移行せずの結論   |

## 学籍の推移 [資料]

| 年 度   | 3 歳 児 | 4 歳 児  | 5 歳 児  | 合 計     | 入園児数 | 年度末卒園児数 | 納付金年額  |
|-------|-------|--------|--------|---------|------|---------|--------|
| 昭和52年 | —     | 48/2組  | 31/1組  | 79/03組  | 79名  | 31名     | 120000 |
| 昭和53年 | —     | 122/3組 | 62/2組  | 184/05組 | 141名 | 62名     | 120000 |
| 昭和54年 | —     | 157/4組 | 122/3組 | 279/07組 | 167名 | 122名    | 132000 |
| 昭和55年 | 23/1組 | 162/4組 | 150/4組 | 335/09組 | 197名 | 150名    | 132000 |
| 昭和56年 | 35/1組 | 190/5組 | 151/4組 | 376/10組 | 202名 | 151名    | 132000 |
| 昭和57年 | 44/1組 | 231/6組 | 189/5組 | 464/12組 | 248名 | 189名    | 132000 |
| 昭和58年 | 40/1組 | 276/7組 | 212/6組 | 528/14組 | 277名 | 212名    | 132000 |
| 昭和59年 | 26/1組 | 244/7組 | 237/6組 | 507/14組 | 211名 | 237名    | 132000 |
| 昭和60年 | 54/2組 | 206/6組 | 216/6組 | 476/14組 | 179名 | 216名    | 144000 |
| 昭和61年 | 42/2組 | 211/6組 | 191/5組 | 444/13組 | 209名 | 191名    | 144000 |
| 昭和62年 | 42/1組 | 179/5組 | 188/5組 | 409/11組 | 186名 | 188名    | 144000 |
| 昭和63年 | 38/2組 | 132/4組 | 160/4組 | 330/10組 | 140名 | 160名    | 144000 |
| 平成01年 | 50/2組 | 165/5組 | 123/4組 | 337/11組 | 184名 | 123名    | 156000 |
| 平成02年 | 58/2組 | 147/4組 | 159/5組 | 364/11組 | 160名 | 159名    | 156000 |
| 平成03年 | 44/2組 | 215/4組 | 139/4組 | 308/10組 | 123名 | 139名    | 156000 |
| 平成04年 | 75/3組 | 90/3組  | 126/4組 | 291/10組 | 129名 | 126名    | 156000 |
| 平成05年 | 34/2組 | 112/4組 | 87/3組  | 233/09組 | 80名  | 87名     | 168000 |
| 平成06年 | 42/2組 | 84/3組  | 105/3組 | 231/08組 | 94名  | 105名    | 168000 |
| 平成07年 | 60/3組 | 60/3組  | 82/3組  | 202/08組 | 87名  | 82名     | 180000 |
| 平成08年 | 71/3組 | 92/3組  | 59/2組  | 222/08組 | 108名 | 59名     | 204000 |
| 平成09年 | 42/2組 | 93/3組  | 86/3組  | 221/08組 | 76名  | 86名     | 228000 |
| 平成10年 | 88/4組 | 55/2組  | 90/3組  | 233/09組 | 107名 | 90名     | 228000 |
| 平成11年 | 65/3組 | 99/3組  | 59/2組  | 223/08組 | 90名  | 59名     | 252000 |
| 平成12年 | 57/3組 | 80/3組  | 92/3組  | 229/09組 | 77名  | 92名     | 252000 |
| 平成13年 | 66/3組 | 72/3組  | 74/3組  | 212/09組 | 84名  | 74名     | 252000 |
| 平成14年 | 59/3組 | 75/3組  | 80/3組  | 214/09組 | 79名  | 80名     | 252000 |
| 平成15年 | 66/3組 | 74/3組  | 73/3組  | 213/09組 | 82名  | 73名     | 252000 |
| 平成16年 | 53/3組 | 84/3組  | 73/3組  | 210/09組 | 71名  | 73名     | 252000 |
| 平成17年 | 52/3組 | 57/2組  | 82/3組  | 191/08組 | 60名  | 82名     | 252000 |
| 平成18年 | 47/3組 | 56/2組  | 57/2組  | 160/07組 | 53名  | 57名     | 252000 |
| 平成19年 | 53/3組 | 47/2組  | 55/2組  | 154/07組 | 57名  | 55名     | 252000 |
| 平成20年 | 42/3組 | 51/2組  | 46/2組  | 139/07組 | 46名  | 46名     | 252000 |
| 平成21年 | 51/3組 | 47/2組  | 52/2組  | 151/08組 | 57名  | 51名     | 252000 |
| 平成22年 | 66/4組 | 57/2組  | 51/2組  | 174/08組 | 75名  | 51名     | 252000 |
| 平成23年 | 67/4組 | 67/3組  | 57/2組  | 191/09組 | 71名  | 57名     | 252000 |
| 平成24年 | 46/3組 | 68/3組  | 66/3組  | 180/09組 | 52名  | 66名     | 252000 |
| 平成25年 | 79/5組 | 47/2組  | 66/3組  | 192/10組 | 84名  | 66名     | 252000 |
| 平成26年 | 95/5組 | 78/3組  | 47/2組  | 220/10組 | 101名 | 47名     | 297240 |



2014年度・平成26年度 学校法人山口学園くずは青葉幼稚園の  
教育事業について、以上の通り報告する。

2015年4月1日

学校法人山口学園

くずは青葉幼稚園

理事長・園長 山口尚志



Yamaguchi Gakuen Educational Foundation

## 2014年度・平成26年度 事業報告書

学校法人山口学園

くずは青葉幼稚園

<http://www.k-aoba.ed.jp/>

〒573-1102 枚方市北楠葉町38番1号

電話 072-857-8221 FAX 072-856-5944

Mail address [info@k-aoba.ed.jp](mailto:info@k-aoba.ed.jp)

2015年4月1日発行